

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	8
事業名	消防団員人件費	会計	款	項	目
政策	8 安全と安心を守るために	一般	9	1	2
施策	8-1 消防・防災対策の充実	課名	総務課		
		係名	防災対策室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。
事業内容	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。 非常時に召集し、火災や風水害などの災害活動を行うほか、地域に密着した火災予防広報、応急手当普及活動、自主防災組織の訓練指導などの予防防災活動を行うことによる人件費。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	消防団員数	93			人	
2							
3							
4							
5							
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B		6,413		6,531	27,224		
財源 内訳	直接事業費 A	4,625		4,605	25,436		
	うち一般財源	4,625		4,605	25,236		
人件費 (千円) B		1,788		1,926	1,788		
内訳	一般職員 (人・千円)	0.26	1716	0.27	1,782	0.26	1,716
	臨時職員 (人・千円)	0.04	72	0.08	144	0.04	72

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	団員確保のために処遇改善を行う。	③取組の課題	団員確保。
②R3年度に実施した取り組み	災害等出動、訓練・警戒等の手当を拡充し、費用弁償から報酬での支出へ変更するための条例改正。	④今後の改善計画	消防団員の処遇改善の拡充及び団員確保。